

◆『経済倶楽部講演録』

バックナンバーのご案内

＊9月号 柯隆「岐路に立つ中国の行方」 伊藤融「第三期モディ政権下のインドのゆくえと日本」 尾身茂「新型コロナ感染症これまで、これから」

＊8月号 渡部恒雄「バイデン外交と大統領選挙の行方」 小幡績「新しい現実22世紀へ向けての経済・金融市場・金融政策中央銀行」 佐藤千矢子「どうなる岸田政権」 課題と展望」

＊7月号 遠藤乾「ウクライナ戦争後のヨーロッパ」 河野龍太郎「日銀は米欧の教訓を学ぶか」 下斗米伸夫「収束に向かうか、ウクライナ戦争」 横山隼也「世界E V競争の本質」

【編集後記】

9月に講演された東短リサーチ社長の加藤出氏は以前から金融や財政の正常化の必要性を強調されていますが、直前に訪問されたスウェーデンについて後代世代の負担増やロシアに対する脅威、災害などへの備えから常に財政健全化に注力していると話されました。振り返って日本の現状はどうか。GDPの200%を超える財政赤字や超低金利の是正にはデフレを招くとか株式市場の混乱などが逆風になる。しかし、長期視点で政策の優先順位を明確にするのが本来、政治の役割でもあり、新しい石破政権にもその点が求められます。

次号は吉野彰氏「リチウムイオン電池が拓く未来社会」、塩田潮氏「ポスト岸田の新政権とこれからの日本」、本間隆行氏「地政学リスクに翻弄される国際商品」、永濱利廣氏「日本経済の現状と展望」を掲載予定です。(日暮)

東洋経済 経済倶楽部講演録 (2024年10月号)

2024(令和6)年10月20日発行

本書内容の複写・複製・転記載・磁気媒体への入力はお断りします。

発行人 田北浩章 編集人 山縣裕一郎

発行 東洋経済新報社
編集 一般社団法人 経済倶楽部

〒103-8345 東京都中央区日本橋本石町1-2-1(東洋経済ビル9階)
電話 03-3270-0681 Fax 03-3270-0987
e-mail; keizaiclub@nifty.com

ホームページ <https://www.keizaiclub.or.jp>
印刷・製本 港北メディアサービス

〈本誌は全国の経済倶楽部会員向けに刊行され、市販はいたしません〉